

# Rapport

2021  
Number

113

多摩大学 | 広 報 誌 |



TAMA UNIVERSITY

多摩大学

2021年度入学式

## Vol.113 Contents

〈経営情報学部〉2020年度秋学期褒賞者	02-03
令和2年度 学校法人田村学園概要	03
2021年度入学式	04
経営情報学部【教員紹介】	05
〈グローバルスタディーズ学部〉新入生保護者向け説明会	05
【キャリアサポート】	
2020年度就職状況/経営情報学部オンライン選考対応個室BOX	06
【産官学民連携センター】	
リコージャパン株式会社/城南信用金庫/京王観光株式会社	07-08
和紙キャンドルガーデン -TOHOKU 2021-	08

# 〈経営情報学部〉 2020 年度秋学期 褒賞者

## 【2020 年度 秋学期 優秀学生賞】

- ① 各講義科目において顕著に優れた成績を収めた学生    ② 教育補助 (SA) として著しい功績があった者  
 ③ 成績向上が顕著な者 (GPA の向上等を基準)    ④ 学業に対する取組が真摯で他の模範となる者    ◎印は、選出理由

科目名	◎	学生氏名
アジア経済論 II	①	村田 月夜
アドバンスド・ライティング・スキル	①	大澤 舜
English Expression II-XA	①	佐藤 優樹
English Expression II-XA	①	大澤 仁
English Expression II-YA	①	中川 皓太
English Expression II-YA	①	松川 正輝
Web サービス開発	①	岸 真穂
韓国経済論	①	吉田 爽太郎
韓国語 II-X	①	金子 莉奈
韓国語 II-Y	①	西潟 沙世
韓国ビジネスコミュニケーション II	④	免田 思乃
キャリア・デザイン II-A	①	高橋 芳
キャリア・デザイン II-B	①	手塚 優希
キャリア・デザイン II-C	④	林 舞輝
キャリア・デザイン II-C	②	伊東 真由
キャリア・デザイン IV-B	①	村田 月夜
キャリア・デザイン IV-B	①	両毛 拓海
キャリア・デザイン入門-X	①	大谷 彩花
キャリア・デザイン入門-Y	①	小柴 孝太郎
教育相談	①	石原 滉大
教育相談	②	佐藤 涼太
クリエイティブデザイン II	①	濱 大貴
クリエイティブデザイン III	①	杉山 直哉
グローバルビジネス入門-X	①	天野 真一郎
経営シミュレーションゲーム	①	北河 祐二
経営思想史	①	前里 海都
経営とセキュリティ	②	今泉 宏樹
経営とセキュリティ	①	小川 悠介
経営とセキュリティ	①	亀井 正彰
経済統計学	①	伊東 真由
原価計算	①	内田 慎吾
現代メディア論	①	金子 慎吾
財務会計	①	佐々木 秀崇
事業デザイン論 II	①	村田 月夜
消費心理	①	武藤 菜月
情報科教育法 II	②	今泉 宏樹
初級簿記	①	溝尻 冴夏
人材マネジメント論	①	小柳 貫太郎
スポーツ II-D (フットサル)	④	野本 太一

科目名	◎	学生氏名
多摩学 I-X1・Y1	①	上原 慧
多摩学 I-X1・Y1	①	尾崎 真由子
多摩学 I-X1・Y1	①	鈴木 雄登
地域政策プランニング	①	梶本 凌平
中国語 II-X	④	奥津 湧貴
中国語 II-Y	①	山田 ゆい
中国ビジネスコミュニケーション II	③	秋元 ほせ
データベース II	④	佐野 有美
データベース II	②	味蓼 恵月
特別講座 II	①	光瀬 千翔
日本語講座上級	④	キムドンヒョク
認知心理	①	亀井 正弥
認知心理	②	河内 颯斗
ビジネススキル入門-X01,X02,X03	①	上原 慧
ビジネススキル入門-X10,X11,X12	②	伊東 真由
ビジネススキル入門-X10,X11,X12	①	齋藤 桃花
ビジネススキル入門-X04,X05,X06	①	青柳 宇輝
ビジネススキル入門-X07,X08,X09	②	今平 竣也
ビジネススキル入門-X07,X08,X09	①	荻原 梓
ビジネススキル入門-Y01,Y02,Y03	①	田上 友葵
ビジネススキル入門-Y04,Y05,Y06	①	馬場 啓介
ビジネススキル入門-Y07,Y08,Y09	①	益川 大輝
ビジネススキル入門-Y10,Y11,Y12	①	田中 湖雪
ビジネス数学 II	①	内田 慎吾
ビジネス法	①	安藤 麻沙未
Practical English Conversation II	①	京 良樹
ベンチャー企業論	①	庄子 彰彦
法学 (憲法)	①	青柳 宇輝
マーケティングマネジメント論	①	廣野 祐太
マーケティング・データ分析	③	小林 明日香
マーケティング・データ分析	②	齊田 百合子
マーケティング・データ分析	①	濱 大貴
マーケティング・データ分析	④	細川 拓海
余暇マネジメント	①	北河 祐二
ライティング・スキル-A	①	織田 一宏
ライティング・スキル-B	①	馬場 啓介
立志人物伝	①	笠原 愛輔

※科目名 50 音順

## 【2020 年度 最優秀学生賞】 大学在学中 4 年間を通じて総合的に最も優秀な成績を収めた者及び本学学生として模範的行為のあった者

荒兼 悠人・小田島 功弥・上岡 萌絵・田中 梓・南雲 颯太・馬場 明仁

※氏名 50 音順

## 【2020 年度 社会・研究活動賞】

- ① コンテスト等において優秀な成果をおさめた者または団体    ② 課外活動で全国大会に出場する等顕著な成績をおさめた者または団体  
 ③ 在籍期間を通じて学生会等の活動にて特に貢献のあった者    ④ 優れた研究成果又は論文を発表した者または団体    ◎印は、選出理由

学生氏名・団体名	◎	内 容
荒木 辰文	②	多摩大学体育会フットサル部に所属すると同時に、プロフットサルリーグ最高峰の F リーグ 1 部湘南ベルマーレにも参画し、リーグ戦に常時出場、4 ゴールを挙げる活躍をしている。
伊東 真由	③	葛本先生のご指導の下、「たまりあん」の中心としてさまざまな活動を実施し、本学部の活性化に貢献した。また、体育会フットサル部のプロモートも、積極的に行った。
上岡 萌絵	④	若者世代の価値観、世界観、人生観、行動に焦点を当て、3 年間にわたって研究を続け、視野の広さ、文献研究の充実度、考察の深さ等において特筆すべき卒業論文にまとめ上げた。
佐保 尚寿	④	在籍期間を通じて、インターゼミ、飛騨高山のアクティブラーニングプログラムを中心とした顕著な活躍が認められるため。
高橋 裕大	②	プロフットサルリーグ最高峰の F リーグ 1 部ベスカドーラ町田に所属、学業と両立させながら、リーグ戦に出場。活躍を続けている。
富高 日向子	②	スキーフリースタイル日本代表選手としてワールドカップに参戦、12/13 にスウェーデン、イドレで開催されたワールドカップ第 3 戦デュアルモーグル種目においてベスト 16 に進出するなど、トップの競技で結果を残した。
中林 亮太 (多摩祭実行委員会)	③	大学祭実行委員として活動をし、2019 年度の実行委員長としての任務を終えたのちも、後輩の指導に努めた。
南雲 颯太 (多摩大学体育会フットサル部)	②	コロナ禍のもと、一年間感染防止を徹底しつつ、努力を重ね、昨年に続いて全国のタイトルを 2 年連続で獲得した。関東リーグ、東京都リーグにおいても、リーグ全体をリードし、学生フットサルの競技レベルの飛躍的向上にも先駆的役割を果たしており、特筆すべき実績を上げた。

学生氏名・団体名	◎	内 容
本石 猛裕	②	プロフットサルリーグ最高峰のFリーグ1部ベスカドーラ町田に所属し、トップ選手としての地位を確立、学業と両立させながら安定した活躍を続けている。
白井 ほか (インターゼミサービスクラス・エンターテインメント班)	④	ゼミのリーダーとして一年間に亘ってメンバーの取りまとめや共同研究において大いに尽力され、最終的に論文という形で優れた研究成果を収めた。また、研究成果の一部を帝塚山大学で行われた「実践学生発表会」にて発表した。
町田 ひかる	③	オンライン学園祭の運営 学園祭実行委員でもあったが、オンライン実施の可能性を信じ、ゼミのメンバーとも協力し、表に立つのではなく、裏から実際の企画運営を支えたため。当日は、オンライン学園祭の仕掛けの切り替えなどをリアルタイムで実行した。
彩藤ゼミクリスマス会実施プロジェクト	③	留学生を送る会として起草したオンラインクリスマス会の実行時、国際交流センターと協力しつつ、ゼミ紹介の意味を持たせて企画を広げ、その交渉と会場づくり、当日の運営まで主体的にやり切ったため。
杉山 直哉・関 悠伍	①	日本バーチャルリアリティ学会主催「IVRC」で書類審査を通過してシードステージまで進み、日本バーチャルリアリティ学会で発表を行った。
世代間交流八王子駅前サロンプロジェクト	④	本プロジェクトは2016年度より大学コンソーシアム八王子「学生企画事業補助金」対象事業となっている。2020年度も採択を受け、コロナ禍に対応した新規事業(2件)を進め、大学コンソーシアム八王子、八王子市社会福祉協議会、連携団体から高い評価を頂戴している。今年度は大学コンソーシアム八王子「第2回八王子地域学生活動連絡会」での講演、八王子市大学生によるまちづくりワークショップへの参加等依頼に応じ感謝状を頂戴している。また、相模原市立市民・大学交流センター主催「まちづくりフェスタ交流展示会」にも出展するなど、社会的な活動を積み重ね成果を認められていることから推薦するものである。
体育会男子フットサル部	②	緊急事態宣言中もオンラインにてトレーニングを継続して、2020年度全日本大学フットサル大会(インカレ)が新型コロナウイルス感染防止の為に中止になったが、代替大会となった関西インターカレッジカップ2020において全国優勝を果たしたため。
田島 宏基・谷萩 優一	①	<a href="https://www.tama.ac.jp/topics/news/2020/11/post-6355.html">https://www.tama.ac.jp/topics/news/2020/11/post-6355.html</a> オージズ総研主催第11回「一度だけつかえるソフトウェアコンテスト」の本選で特別賞を受賞
多世代交流みんなの食卓プロジェクト	④	コロナ禍において多摩市内のコミュニティセンターが主催事業や団体利用を休止せざるをえない中、連携する聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会が休刊を検討していた広報紙「ひじりCAN」について、地域住民にメッセージを発信し続けるよう働きかけ、運営協議会の要望を受けながらプロジェクトメンバーも食育や学生生活を紹介するコラムの掲載を続けた。一方、これまでの事業については、オンラインを活用した新規事業を提案するなど積極的に取り組みウイズコロナ、コロナ後に繋げている。学生たちが作成した住民のためのオンラインマニュアルは多摩市内公民館職員から依頼を受け参考資料として提出している。
中村そのこゼミ4年生	①	今年度、多摩市ボランティアセンターのボランティア通信企画活動により多摩市社会福祉協議会より表彰を受けることになった。 <a href="https://www.tama.ac.jp/topics/news/?s=E4%B8%AD%E6%9D%91%E3%81%9D%E3%81%AE%E3%81%93%E3%82%BC%E3%83%9F">https://www.tama.ac.jp/topics/news/?s=E4%B8%AD%E6%9D%91%E3%81%9D%E3%81%AE%E3%81%93%E3%82%BC%E3%83%9F</a>

## 令和2年度 学校法人田村学園概要

多摩大学の経営母体である学校法人田村学園は、私立学校として積極的に情報開示をしております。最新の田村学園概要は、以下のとおりです。

(学校法人 田村学園 貸借対照表)

### 貸借対照表

令和3年3月31日 (令和2年度)

(単位:百万円)

資産の部	前年度末	本年度末	増 減
科 目			
固定資産	24,316	24,459	143
有形固定資産	20,693	20,504	△189
土地	13,015	13,015	0
建物	6,687	6,517	△170
その他	991	972	△19
特定資産	2,192	2,292	100
第2号基本金引当特定資産	2,100	2,200	100
第3号基本金引当特定資産	92	92	0
その他の固定資産	1,431	1,663	232
電話加入権	5	5	0
その他	1,426	1,658	232
流動資産	4,834	5,403	569
現金預金	4,405	4,896	491
その他	429	507	78
資産の部合計	29,150	29,862	712
負債の部			
科 目			
固定負債	452	463	11
長期借入金	1	1	0
退職給与引当金	451	462	11
流動負債	1,314	1,580	266
短期借入金	1	1	0
前受金	800	913	113
その他	513	666	153
負債の部合計	1,766	2,043	277
純資産の部			
科 目			
基本金	33,900	34,169	269
第1号基本金	31,356	31,525	169
第2号基本金	2,100	2,200	100
第3号基本金	92	92	0
第4号基本金	352	352	0
繰越収支差額	△6,516	△6,350	166
翌年度繰越収支差額	△6,516	△6,350	166
純資産の部合計	27,384	27,819	435
負債及び純資産の部合計	29,150	29,862	712

(令和2年度 学校法人 田村学園 計算書類 抜粋)

(資金収支)

(資金収入) (単位:百万円)

学生生徒等納付金収入	3,930
手数料収入	101
寄付金収入	71
補助金収入	1,235
資産売却収入	0
付随事業・収益事業収入	132
受取利息・配当金収入	48
雑収入	140
その他	288
前年度繰越支払資金	4,405
合計	10,350

(資金支出)

人件費支出	3,093
教育研究経費支出	1,250
管理経費支出	443
借入金等利息支出	0
その他	667
翌年度繰越支払資金	4,897
合計	10,350

(事業活動収支)

(単位:百万円)

学生生徒等納付金	3,930
手数料	101
寄付金	63
経常費等補助金	1,232
付随事業収入	132
雑収入	141
<b>教育活動収入合計</b>	<b>5,599</b>
人件費	3,103
教育研究経費	1,640
管理経費	471
その他	4
<b>教育活動支出合計</b>	<b>5,218</b>
教育活動収支差額	381
教育活動外収入	47
教育活動外支出	0
教育活動外収支差額	47
<b>経常収支差額</b>	<b>428</b>
特別収入	13
特別支出	5
特別収支差額	8
<b>基本金組入前当年度収支差額</b>	<b>436</b>
基本金組入額	△270
当年度収支差額	166
前年度繰越収支差額	△6,516
基本金取崩額	0
翌年度繰越収支差額	△6,350
(参考)	
<b>事業活動収入合計</b>	<b>5,659</b>
<b>事業活動支出合計</b>	<b>5,223</b>

(令和3年度)

・学生・生徒等(人)	田村学園全体 多摩大学	4,778
	学部	
	経営情報学部	1,500
	グローバルスタディーズ学部	646
	多摩大学 大学院	133
	高校(2)・中学(2)・幼稚園(3)	2,499
・キャンパス面積(m <sup>2</sup> )	田村学園全体 多摩大学 その他	115,932 44,913 77,019

以上、令和3年5月1日 現在

## 「思いきり深呼吸して、学ぶことを生活習慣にしてみたい」

2021年4月4日(日)、多摩キャンパスと湘南キャンパスの2会場にて「2021年度多摩大学入学式」を挙行了しました。今年度の新入生は、経営情報学部 385名、グローバルスタディーズ学部 159名、計 544名です。

今年は新型コロナウイルス感染症の予防に万全を期して、学部毎に会場を分けての同時開催としました。入場前の検温・消毒を徹底し、密集を避けるため保護者の方のご参列はご遠慮いただき、新入生のみのお出席としました。多摩キャンパスで行われた登壇者の挨拶は湘南キャンパスにライブ配信し、オンラインにて入学式を共有しました。

寺島実郎学長は、「多摩大学は建学32年の若い大学であり、人を育てていくことに力を入れた手づくり感のある現代の志塾。大学で学ぶことは今後大きく飛躍するための土台となり、実学として社会で役に立つ。昨年度は新型コロナ禍でも対面とリモート授業を組み合わせ、一定の成果を上げた。大学での学びは主体性であり、本当の意味での学びがこれからスタートする。大人になるとは自分を客観視できること。21世紀に入り世界における日本の立ち位置は大きく変化している。アジアダイナミズムを吸収しながら、どのようにしてこれからの日本をつくっていけばいいのか考えてほしい。皆さんには思い切り深呼吸して学ぶことを生活習慣にしてみたい。大学4年間を活用してどのように自分の基盤をつくるのか。100年人生といわれる今の時代には、自分の人生のテーマを自分で創造していく努力が必要。先生方の力を借りながら、仲間とともに最大の努力をしながら目一杯力をつけて、新しい時代に挑戦してください」と新入生を祝福しました。

学校法人田村学園 田村嘉浩理事長は充実した学生生活を送るためのアドバイスとして、「自分自身の頭で物事をとことん考える。短い学生生活の中で今日できることを先延ばししない」、そして「自分自身の力を信じて物事をやり抜き、走り切ってほしい。過去は変えられないが未来は変えられる。強い気持ちをもってたくましく歩んでもらいたい。志を持って実社会で活躍できるような人間として育てていってください。皆さん頑張ってください」とエールを送りました。続いて来賓として出席された阿部裕行多摩市長は若者も活躍する多摩市を紹介し、「ぜひ学ぶことを忘れずに今しかできないことをやってほしい。皆さんならきっとできます」。多摩大学、多摩市と三者連携を締結している多摩信用金庫の八木敏郎理事長は、「積極的にさまざまなことを学び経験し、充実した学生生活となることを祈ります」と祝辞を述べました。また、フットサル特待生として入学した経営情報学部の菅原現生すがわらげんきさんは、新入生代表として「フットサルと学問の両立に全力で取り組んでいきたい」と大学生活への抱負と期待を語りました。

学園歌は着席のまま静聴し、壇上者の退場後、閉会となりました。



多摩キャンパスで行われた式典の様子



寺島実郎学長



田村嘉浩理事長



新入生代表による挨拶



経営情報学部の新入生たち (多摩キャンパス)



グローバルスタディーズ学部の新入生たち (湘南キャンパス)

## 学内外で幅広く学んでください

大学生の多くは、私の専門である「財務」の授業を「利益率などに代表される指標を計算し、他社等と比較すること」だと解釈する傾向があります。この解釈、ある意味間違いではありませんが、十分な理解に基づいているとはいえません。なぜなら、そのような計算結果をもたらした背景を考察する視点が欠けているからです。結果（会社の成績）だけを見るのではなく、結果の背景にある原因にも焦点を当てなければ、指標計算は単なる四則演算でしかありません。因果関係を明らかにするためには幅広い視野と知識が必要です。そのために本学でさまざまな分野の科目を履修しつつ学外での経験値を高めるなどして、幅広く学んでください。

### 落合 孝彦

(オチアイタカヒコ)

経営情報学部 教授

〈プロフィール〉

学習院大学経済学部卒業。早稲田大学大学院商学研究科修士課程修了「修士（商学）」、明治大学大学院経営学研究科博士後期課程単位取得満期退学。青森公立大学経営経済学部教授を経て2021年4月より現職。



## 過去の情報を未来へ伝える情報技術

私の専門は、デジタルアーカイブです。私たちが100年前の風景を見たいと思った時に真っ先に行うのは、当時の写真や絵葉書を参照することだと思います。しかし、そこに写っている風景は、その多くが現存しません。また、あらゆる角度から観察することもできないのです。そうしたことを可能にするのが、情報技術の一種であるCG（Computer Graphics）技術です。あらかじめ歴史的建造物や街の景観をCG化しておくことで当時の景観や雰囲気をいつでもどの角度からでも鑑賞可能なのです。都市は日々変化を遂げているため、今の景色もいずれ失われてしまうので、CG化して仮想空間上で保存しておくことにより、後世の人々にも正確な情報を伝えられるのです。

### 内藤 旭恵

(ナイトウアキエ)

経営情報学部 准教授

〈プロフィール〉

早稲田大学大学院情報生産システム研究科修了「修士（工学）」、法政大学大学院経営学研究科修了「修士（経営学）」、早稲田大学大学院国際情報通信研究科単位取得満期退学「博士（国際情報通信学）」、NECエンジニアリング株式会社、目白大学社会学部メディア表現学科助教、静岡産業大学情報学部情報デザイン学科専任講師を経て、現職。



## 法的思考力で道を切り拓く人材育成

私の専門は法学です。研究テーマは、刑法、自動運転です。最近では、自動運転の社会実装に向けて、実証実験・AIの法的問題を扱っています。皆さんは法学（法律）と聞くと、どのような場面を思い浮かべますか？法律が問題になるのは、「相続問題」「商品欠陥」「交通事故」「刑事事件」という特殊な場面だけではありません。「スーパーで買い物をする」「バスに乗る」「仕事をする」「家を借りる」など、全て法律が関係しています。法学関係の授業では、法律の知識で問題を解決する段階的思考である法的思考力が身につきます。企業活動において、問題点・トラブルの背後にある法的状況を把握して、最適なアプローチを選び出す力を授業で磨きます。

### 樋笠 亮士

(ヒカサタカシ)

経営情報学部 専任講師

〈プロフィール〉

上智大学法学部法律学科卒業、中央大学大学院法学研究科博士後期課程修了「博士（法学）」、同志社大学人文科学研究科嘱託研究員、中央大学日本比較法研究所嘱託研究員、嘉悦大学ビジネス創造学部非常勤講師、大東文化大学法学部非常勤講師、中央大学法学部助教、ウツリブルク大学法学部ロボット法研究所外国研究員、多摩大学経営情報学部非常勤講師、法務省法務総合研究所委託研究員、名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所特任助教を経て2021年より現職。



## 〈グローバルスタディーズ学部〉 新入生保護者向け説明会を開催

2021年4月24日（土）に、グローバルスタディーズ学部新入生保護者向け説明会を開催しました。

新入生の保護者を対象に、本学の修学支援や学生支援への理解を深めていただくためのもので、例年は入学式後に開催していましたが、新型コロナウイルスの影響で開催を見送らせていただきました。

安田震一学部長の挨拶・学部説明に始まり、竹内一真学生委員長から学生のサポート体制、太田哲教務委員長から履修に関する説明をしました。

当日は72名と多くの方にご参加いただき、また、多くの貴重なご意見を賜りまして、誠にありがとうございました。

保護者の方々の声を直接伺うことができる貴重な機会となりましたので、今後もご意見を参考に教育活動の充実を図るべく検討を続けて参ります。



安田学部長による学部説明



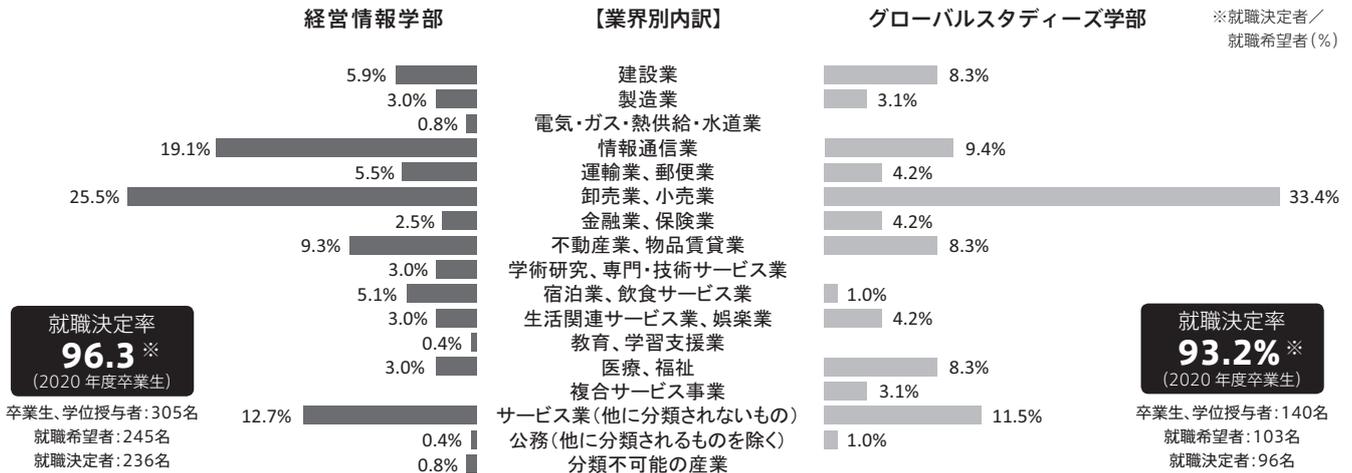
竹内学生委員長による学生のサポート体制について

# キャリアサポート

多摩大学キャリア支援課では、学生一人一人にきめ細やかなサポートを行っています。経営情報学部ではゼミ担当教員とキャリア支援課職員が常に情報を共有しながら、各学生の個性に合った指導をしています。定期的な就職に関する父母懇親会を開催し、ご家族にも就職活動へのご理解をいただくことで、就職活動に取り組みやすい環境を整えています。また、グローバルスタディーズ学部では、就職委員会とキャリア支援課が連携し少人数制の特性を生かした就職支援を行っています。正課インターンシップ等の低学年次からのキャリア科目を通じ早期の就業観、労働観の醸成を図り、3年次以降は就職活動本番を見据えたキャリア支援講座等の充実したプログラムによる支援に繋げ、学生をサポートします。

## 2020年度就職状況

※2021年5月1日現在



### 【主な就職先】(50音順)

〈経営情報学部〉(株)あきんどシロイ、(株)アサンテ、アパホテル(株)、(株)イービーシー・マート、グッドライフサラー関東(株)、コーナン商事(株)、(株)ザラ・ジャパン、JA かながわ西湘、ジェービーエス製薬(株)、(株)システナ、(株)スズキ自販神奈川、(株)スズキ自販湘南、総合警備保障(株)、(株)そごう・西武、多摩信用金庫、(株)DTS、デロイト中国、東京ガスエコモ(株)、トランスコスモス(株)、(株)ニチイ学館、日本住宅(株)、日本チルド物流(株)、パーソルテンプスタッフ(株)、一建設(株)、(株)パナホーム静岡、(株)ビッグモーター、福島トヨタ自動車(株)、富士通ネットワークソリューションズ(株)、(株)丸和運輸機関、三菱UFJ ビジネスパートナー(株)、南相馬市役所、山崎製パン(株)、(株)ヤマダホールディングス、ワールドビジネスセンター(株)

〈グローバルスタディーズ学部〉(株)あさひ、(株)イーグル建創、ウェルシア薬局(株)、(株)エイジェック、加賀ソルネット(株)、かながわ信用金庫、(株)共立メンテナンス、(株)KSP、KJC GROUP(株)、(株)小泉、さがみ農業協同組合、(株)三枝協、(株)サンケイビルウェルケア、(株)サンドラック、(株)システナ、(株)湘南ライセンス、(株)スズキ自販神奈川、(株)スズキ自販湘南、(株)センチュリー21・ジャパン、SOMPO ケア(株)、大東建託(株)、太平ビルサービス(株)、(株)高山医療機械製作所、トップ産業(株)、(株)ナカノ商会、西松建設(株)、日産プリンス神奈川販売(株)、日本交通(株)、日本生命保険相互会社、ハウスコム(株)、(株)ベネッセスタイルケア、(株)ホンダカーズ中央神奈川、(株)マイテック、マンパワーグループ(株)、メーカーズシャツ鎌倉(株)、ユーミーらいふグループ、横浜市教育委員会、(株)LIXIL ビバ、レモンガス(株)、(株)ロピア

## 経営情報学部オンライン選考対応個室 BOX

多摩キャンパスでは、コロナ禍の2020年度の採用戦線から急速に増加したオンライン選考への対応として、アゴラ(111教室)に専用の個室BOXを設置しました。大学内の安定した通信環境と静かな環境で集中して選考に臨みたい、という就職活動中の4年生からの要望に応え、この環境を整備いたしました。自身が納得できる就職活動とするためにも、ぜひ積極的にオンライン選考用個室BOXをご活用ください。

利用方法については多摩キャンパスキャリア支援課までお問合せください。



### リコージャパン株式会社主催

## 「システムデザイン思考研修 RICOH Innovation Forum」最終ピッチコンテスト 開催

2021年3月24日（水）多摩大学にてリコージャパン株式会社（本社：東京都港区）主催「システムデザイン思考研修 RICOH Innovation Forum」の最終ピッチコンテストが開催されました。

同コンテストには、武州工業株式会社・株式会社緑測器・リオン株式会社・株式会社タチエス・コスモ計器株式会社・蛇の目マシン工業株式会社・株式会社テセック・リコージャパン株式会社・株式会社リコー・多摩大学が参加し、審査員として本学の経営情報学部長島剛教授他、教職員も含め、総勢50名が参加しました。

本プログラムは、多摩地域の企業に勤めている研究者や企画担当者と多摩大学 経営情報学部の学生（2年：2名、3年：2名）を含めた計4チームで活動し、事前学習で学んだ方法に基づき、チームごとに「環境問題解決」についてイノベーションあるアイデアを考案しました。同コンテストでは約4か月間かけて考察したアイデアについて発表し、実現妥当性などの観点から審査を行い、フィードバックが行われました。

異業種企業の方々や学生との議論から生まれたアイデアは、多分野に及び「ノイズキャンセリングに関するビッグデータの活用」、「環境コーヒー×SDGs」「飲食店AI支援」、「住宅選び×ドライレコーダーデータ活用」など寸劇や動画も交えた楽しい発表となりました。

参加した本学の学生は、今回の経験を学内に周知し、何事にも挑戦する気持ちをもって取り組んで欲しい、と発信していきたいとのコメントがありました。また、長島教授から社会人と学生が互いにアイデアを出し合い、議論をした経験は、大変良い学びの場になり、今後も継続していきたいとのコメントがありました。



GushOut!!チームの発表



DDKチームの発表



Grassチームの発表



ブルーインパルスチームの発表

### 城南信用金庫と多摩大学

## 「学生が考えるよい仕事おこしフェア発表会」開催

2021年3月30日（火）城南信用金庫と多摩大学の「学生が考えるよい仕事おこしフェア発表会」を城南信用金庫（本店：東京都品川区）にて開催しました。

今年度10年目を迎える「よい仕事おこしネットワーク」は、同庫が東日本大震災をきっかけに復興支援としてスタートし、現在、全国の信用金庫等の大きなネットワークとなっています。今回の発表会は、城南信用金庫 川本恭治理事長、上原秀生常務理事、平山彰紀部長、他2名の方にご出席いただき、本学からは、経営情報学部 長島剛教授、彩藤ひろみ教授、松本祐一教授、学部生3名、職員1名が出席しました。長島剛教授の司会により、多摩大生が2021年度「よい仕事おこしフェア」の企画を提案しました。

発表と提案は、「初の複数同時開催」「敵の敵は味方～復興支援～」 「きっかけのコントロール」「バーチャル空間でのアバター参加型セミナープロトタイプ」の4つのタイトルで行いました。

各発表は、47都道府県のアンテナショップの活用、オンライン展示会コンテストなどお客様の立場に立ち、コストを考慮しながら、予測できないコロナ禍の状況変化を想定して企画提案しました。

川本理事長からオンラインイベントでは、お客様の集客方法が最大の課題であるとお話があり、これまで大切にしてきた人脈、ネットワークを維持しつつ、オンラインを有効に活用するアイデアを学生達に考えていただきたいとのご依頼がありました。

緊張感のある真剣な意見交換をした今回の発表会は、学生達にとって学びにつながる良い機会となりました。



## 京王観光株式会社と多摩大学

### 「観光に関する発表会 2020」開催

2021年3月16日(火)京王観光株式会社本社(東京都渋谷区)にて同社と多摩大学の「観光に関する発表会 2020」を開催しました。同発表会は、2020年11月25日に包括連携協定の調印式を行った京王観光株式会社と本学の今後の産学連携事業の先駆けとなるべく、本学の観光まちづくりに関する研究成果を共有することで社会の課題解決の一助として開催しました。

京王観光株式会社から取締役社長 杉田伸一様、常務取締役 竹内健様、取締役 岡部政志様、取締役 越智栄人様、団体旅行営業部長 諸角史人様、個人旅行営業部長 及川源彦様、その他6名の社員の方にご出席いただき、本学からは、経営情報学部 松本祐一ゼミ(3名)、野坂美穂ゼミ(4名)、長島剛ゼミ(4名)の学生が発表を行い、総勢27名が参加しました。

はじめに本学の経営情報学部 長島剛教授より同発表会に至るまでの経緯について説明があり、続いて京王観光株式会社 杉田取締役社長より多摩地域の魅力発信への期待についてお話をいただきました。松本ゼミからは奥多摩の地域活性化活動について、奥多摩地域が将来の移住先の選択肢となることを目的とした人に焦点を置いたイベントの提案がありました。野坂ゼミは、多摩地域の農業を観光業に取り込む可能性について生産者に行ったアンケート結果をもとに、消費者が農業に段階的に興味・関心を持てるような企画提案をしました。長島ゼミは、現在、京王観光株式会社、多摩市、稲城市、多摩大学総合研究所で主催している継続性のある地域活性化と地元の魅力再発見を目的とした「多摩マイクロツーリズムプロジェクト」の企画に参画しており、プロジェクトの進捗報告と同ゼミの活動を通して学んでいることについて発表がありました。

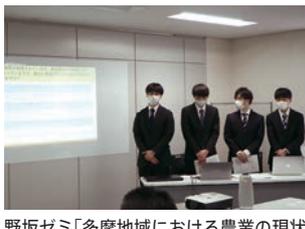
講評では、発表した3ゼミ連携のプロジェクト立ち上げの提案、企画実現への期待についてお話をいただき、学生から就職先として選んでもらえる企業を目指し、課題であるマイクロツーリズムについて互いに取り組んでいきたいとのご意見をいただきました。参加学生からは、企業の役員の方々の率直なご意見や温かいお言葉を賜り、またこのような貴重な経験をいただき本当にありがとうございましたとの感謝の言葉がありました。



京王観光株の皆様との記念撮影



松本ゼミ「奥多摩にて開催するイベントについて」



野坂ゼミ「多摩地域における農業の現状と課題、その他課題解決に向けた提案」



長島ゼミ「多摩マイクロツーリズムプロジェクトの進捗報告」

### 「和紙キャンドルガーデン -TOHOKU 2021-」開催

2021年3月9日(火)～11日(木)、東京ミッドタウンにて、多摩大学経営情報学部村山ゼミの日本大好きプロジェクトが企画する「和紙キャンドルガーデン -TOHOKU 2021-」が開催されました。

「和紙キャンドルガーデン」は、村山ゼミの学生が2011年から東日本大震災の被災地を巡り、東北の方々のメッセージを届けるプロジェクトとして行ってきました。震災から10年経った今回は、10年間のメッセージ和紙のキャンドルを東京ミッドタウンの芝生広場・ミッドタウン・ガーデンに並べました。3日間で2,831人の来場者があり、被災地の方々の思いに改めて心を寄せる貴重な機会になりました。

本イベントは、様々なメディアを通じ発信されました。

